

外部資本 波やまず

仙台：中心部のビル買収相次ぐ

仙台市中心部の商業ビルが、東京資本や外資系ファンドにより相次いで買収されている。地元の老舗みそ店「佐々重」が持つ佐々重ビルや、市の所有するJR仙台駅前の高層ビル「アエル」など象徴的な建物も買収的になった。ビルの収益性が上がって不動産価値が高まると歓迎する声がある一方、外部資本による地元資産の保有化が進む現状に危機感を持つ関係者もいる。

著名ビル身売り

六十億―百億円とされを帳消しにした上、十億円の収益をもたらした。新たな投資先を求めて仙台などの地方都市に流入し、物件を次々に買い落

著名ビルは十月、東アエルは十月、東京のほかに、仙台駅前にある老舗ホテルの仙台ホテル、物件を次々に買い落

京の平和不動産に売り渡す。不動産投資会社セキユアある老舗ホテルの仙台ホテル、物件を次々に買い落

された。建物は仙台市のアーケード街にあり、大型選挙の際は大物政治家が街頭演説するスポットとしても知られる。

建物商業ビルとして賃貸していたが「テナント争奪戦が厳しく、本業に専念することにした」(佐々重)と売却に踏み切った。売却価格は明らかにされていないが、設に伴う市の多額の債務

刻む青葉区の仙台三和ビルディングが外資系企業に買い取られた。

「投機ではない」

不動産ファンドマネーは大都市圏の開発が飽和状態になったのを受け、

新たな投資先を求めて仙台などの地方都市に流入し、物件を次々に買い落

地元衰退に危機感

「賃貸市場活性化」歓迎も

「投資マネーの流入は悪い話ではない。ハイクレドなビルが増え

て賃貸市場を活性化させると利点を強調する。

「仙台の大型ビルが外部関係者は「外部資本による保有化は地元資本の衰退を意味し、歯止めを掛ける対策が必要かもしれない」と指摘する。

仙台の大型ビルが外部関係者は「外部資本による保有化は地元資本の衰退を意味し、歯止めを掛ける対策が必要かもしれない」と指摘する。

「Three's」深層

「Three's」深層

「Three's」深層

「Three's」深層



仙台市の信託銀行によると、地元のビル所有者の中には、経済的負担からビルを手放したがっている人もおり、外部資本への売却が進む一因になっている。

10年後は不透明 仙台の大型ビルが外部関係者は「外部資本による保有化は地元資本の衰退を意味し、歯止めを掛ける対策が必要かもしれない」と指摘する。

不動産投資に詳しいア

不動産投資に詳しいア

不動産投資に詳しいア